15巻　表紙・はしがき・目次

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-04-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 西嶋, 義憲 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00057370

ISSN 2188-6350

論 文 集

第 15 巻

2019年度

金沢大学人間社会学域経済学類

社会言語学演習

はしがき

本論集は、金沢大学人間社会学域経済学類社会言語学ゼミ（代表 西嶋 義憲）が編集・発行する『論文集』の第15巻です。本巻には7編の論文が収められています。執筆者は、学士課程の経済学類3年生と4年生です。

1編目から3編目までは3年生の共同研究です。今年度は1学年9名だったので、共同研究のテーマを1つに絞ることができませんでした。そこで、3グループに分け、それぞれのグループごとに共同研究をさせました。

巻頭論文「時代による女性表現の変化――映画のリメイク作品の字幕比較――」は、映画のオリジナル作品とそのリメイク版を利用して、女性主人公のセリフにおける「女性らしさ」を表す表現の変化を分析しています。

2編目の「言語と図のレイアウトに関する研究」は、雑誌の表紙における文字と画像の好まれるレイアウトを探るものです。

3編目の「現代のリアルな若者の若者言葉の使い方とその心理」は、「普通に」の用法を出発点に、若者がこの表現を多用する心理に迫ろうとしています。

4編目から7編目までは4年生の卒業研究です。

4編目の「料理と食事に関するオノマトペ――グルメ漫画『美味しんぼ』の分析――」は、あるグルメ漫画で多用されるオノマトペの傾向を分析しています。

5編目の「女性の恋愛観・結婚観の変化――ファッション雑誌『an・an』の分析――」は、50年間分の女性雑誌の特集記事を分析し、女性の恋愛観などの変化を明らかにしています。

6編目の「テレビドキュメンタリーの変遷と経済発展」は、ドキュメンタリーで扱われるテーマが社会問題から人間に移ってきていることを経済発展と結び付けて論じています。

巻末の7編目の「世代別男性ファッション雑誌に見る言語的特徴」は、対象世代の異なる4誌を比較し、好まれる言葉遣いの違いを明らかにしています。

*

今年度の学士課程の卒業生は4名です。就職先は、民間企業3名（食品関係、通信関係、福祉関係）と公務員1名というように、卒業後の進路はさまざまですが、それぞれの分野での卒ゼミ生たちの一層の活躍を願っています。

今年度より新ゼミ生は3年次からではなく、2年次の第4クォーターからの配属となり、2名が新たに加わりました。昨年は1学年9名という、これまでの最多記録となりましたが、今年はその揺り戻しでしょうか、激減しました。4月から、博士前期課程に1名の留学生を迎えます。そして、大学院進学を目指す研究生が2名来られます。そこに、新4年生になる9名と、過年度生2名、博士前期課程と博士後期課程在学中の院生それぞれ1名と3名を加え、総勢20名の大所帯のゼミになります。論文の個別指導が大変ではありますが、多彩なテーマの論文が提出されるでしょうから、同時に楽しみでもあります。

2020年3月　西嶋 義憲

目　次

＜論 文＞
阿部 修・澤 緋奈子・前川 愛歩
　時代による女性表現の変化――映画のリメイク作品の字幕比較――　……1
大桃 史円・増澤 直彦・田中 良樹
　言語と図のレイアウトに関する研究……19
石原 一輝・金和 達也・舘 一輝
　現代のリアルな若者の若者言葉の使い方とその心理……33
今尾 信之
　料理と食事に関するオノマトペ
　――グルメ漫画『美味しんぼ』の分析――……47
太田 詠美
　女性の恋愛観・結婚観の変化
　――ファッション雑誌『an・an』の分析――　……63
小杉拓郎
　テレビドキュメンタリーの変遷と経済発展……99
番川 達也
　世代別男性ファッション雑誌に見る言語的特徴……113

*

過去および現ゼミ生の論文タイトル……127
金沢大学社会言語学演習紀要『論文集』第16巻執筆要領（簡略版）……140